

令和6年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	情報 I				
教科	情報科	単位数	2単位	学年・コース	高校2年 全クラス
使用教科書	情報 I (日本文教出版)				
副教材等	情報 I サブノート (日本文教出版)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画できる資質・能力を養う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	序章	序章評価	10月	第2節 アルゴリズムとプログラム	行動観察
	第1節 なぜ情報について学ぶのか	ワークシート			
	第2節 「情報 I」で学ぶこと	話し合い			
5月	第3節 学習の前に確認しよう	行動観察	11月	第3節 モデル化とシミュレーション	
	第1章	第1章評価			
	第1節 情報の特性	ワークシート			
	第2節 メディアの特性	話し合い			
	第3節 問題解決の考え方	作業ファイル			
	第4節 法の重要性と意義—知的財産権	発表			
6月	第5節 法の重要性と意義—個人情報	振り返りシート	12月		第2学期期末考査 サブノート提出
	第6節 情報社会と情報セキュリティ	行動観察			
	第7節 情報技術の発展による生活の変化				
	第8節 情報技術の発展による社会の変化				
7月	第2章	第2章評価	1月	第4章 第1節 情報通信ネットワークのしくみ	第4章評価 ワークシート 話し合い 作業ファイル 発表 振り返りシート
	第1節 メディアとコミュニケーション	ワークシート			
	第2節 情報のデジタル化	話し合い			
	第3節 情報デザイン	作業ファイル 振り返りシート			
		行動観察			
8月		第1学期期末考査 サブノート提出	2月	第2節 情報システムとデータベース	行動観察
9月	第3章	第3章評価	3月	第3節 データの活用	第3学期期末考査 サブノート提出
	第1節 コンピュータのしくみ	ワークシート			
		話し合い 作業ファイル 発表 振り返りシート			

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | |
|-----------------|---|
| ① 知識・技能 | 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。 |
| ② 思考・判断・表現 | 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。 |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。 |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します